

(第6条関係)

事業計画書

事業名	介護する人をリフレッシュさせてあげたい事業
団体名	NPO 法人 Emi の樹ダイエットフロンティア

★貴団体が申請する事業について、お伺いします。

1. どのような地域課題を解決したいのか、その現状や背景などについても含めて記載してください。

被介護者、各種福祉施設利用者にとって本当の幸せとは。本当の安全とは。を解決したいと考えます。その為には、介護者のからだと心の健康の必要性を感じます。

いま、そしてこれから日本は超高齢社会となります。そんな中、福祉に関わるきびしい現状が取りざたされます。人の力に頼らざるを得ない職種で、たくさんの方が次々と入ってきては去ってゆく状況。

私が体操を指導している方の中にも介護関係の方がおり、「同僚の多くは介護の仕事に疲れてもうクタクタです。働いたお金は整体へ飛んでいっています。自分で癒せる体操をみんなに教えてあげてください。」と声をかけられたことがきっかけで、何かできることがあるのではと考えることとなりました。

また、私の母は視力障害者でグループホームで生活しています。私も別のデイサービスでスタッフと被介護者への運動指導をしています。その施設のスタッフやガイドヘルパーさんは何よりも安全最優先で接していただいています。

その誘導の方法や見守りの仕方、機能維持改善方法等々、生活全般を見るとはたしてその介護方法は本当に被介護者の幸せにつながっているのだろうか、介護する方の体力も必要以上につかっているのではないか。という疑問がでてきました。

ひとつは、健康運動指導士として数多くの運動指導をしてきた立場から、もっと効率的な、被介護者の立場に立った介護方法をお話ししていきたい。もうひとつは、介護をする人達の健康を自ら顧みて他人だけでなく何よりも自分を大切にしてもらいたい、と思います。

2. それらの課題を解決することで、どのような地域にしたいのかを記載してください。

家庭で介護活動をする方、デイやホームで働く方、ヘルパーとしてガイドする方などいろいろな立場の方に、疑問を持っていただき、被介護者との接し方をより本人主体で考えるようになってもらいたい。そうすることで少しでも要支援者・要介護者を減らす、または介護度を軽減させるなど、介護する方もされる方も良い方向に向かうようになっていけばいいなと感じます。それは今後増え続けると考えられる、福祉や医療にかかわる費用の縮小にも役立ち、元気なお年寄りのいる街ができていくのではないかと思います。

3. どのような地域課題の解決につながるのかが、分かるように事業内容を記載してください。

・事業内容

- ① 運動指導の立場から、介護する方はどうすることが効率的な介護の方法なのかを知ってもらいたい。
(コミュニケーションも含めて)
- ② 介護する方には自分の体と心のリフレッシュ方法を取り入れてもらいたい。
- ③ 健康な体作りには食と運動が大切であることを体験してもらいたい。

・想定されるスケジュール(事業内容について、具体的な取り組みを下記のとおり記載してください)

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月～6月	第1回 参加者募集 広報活動 ① 5月 介護に役立つ運動指導法 ② 6月 体を知ることとリフレッシュ、セルフケアの方法を指導	市の施設などでの事業広報 広報誌などを通じて募集する。 対象は介護者、介護に興味関心のある方なら どなたでも20名程度。 場所は新松戸市民センター
7月～9月	③ 7月 栄養と食の理論と実践指導 第2回 参加者募集 ① 9月 上記①と同様	簡単な調理を含む 新松戸市民センター ① と同様
10月～12月	② 10月 上記②と同様 ③ 11月 上記③と同様	② と同様 ③ と同様(新松戸市民センター)
1月～3月		

4. 事業に取り組む上での達成目標を記載してください。

※事業目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載してください。

今回は参加者を20名に設定していますが、毎回それを上回る参加希望となるよう、充実した内容の事業にしていきたい。

介護者・被介護者からアンケートを取り、そのすべての方が心と体をリフレッシュし、お互いに幸せな方向に動いていることが目標です。

5. 助成金終了後、どのような活動に取り組むのかを記載してください。

介護する関係者にとどまらず全ての人は、機能の衰えとともに生活範囲が小さくなり、気持ちも閉鎖的になっていく傾向に対し、まずはからだのを知ることから始め、身体機能の衰えを防ぐ方法を積極的に広めていきたい。より活力のあるコミュニティづくりを進めていきたいと思います。

(第6条関係)

事業の予算計画書

【収入】

申請者	(自己資金)	金額	積算内訳
	参加者負担金	72000 円	500 円×4 回×20 人 (講義・実習) 800 円×2 回×20 人 (講義・調理)
	自己資金合計 (a)	72000 円	
市	助成金申請額 (b)	100000 円	
	収入合計 (c) (a+b)	172000 円	

【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の 90%以内
2. 1 事業あたり 10 万円以内

【支出】

交付対象経費	項目	金額	積算内訳
	謝金 (講師謝礼)	48000 円	8000 円×6 回
	チラシ費	20000 円	印刷代 1000 部×20 円
	材料費	20000 円	栄養指導材料費 10000 円×2 回
	配布テキスト製作費	12000 円	100 円×20 名×6 回
	雑費、消耗品	7000 円	文房具、名札ホルダー、マジック、マグネット、用紙、ラミネートシートほか
	イベント保険	10800 円	90 円×20 人×6 回
	対象となる経費合計額 (d)	117800 円	

その他	交通費	10200 円	スタッフ 交通費 1700 円×6 回=10200 円
	研修費、会議費	44000 円	スタッフ 会議費 500 円×4 人×6 回=12000 円 体操研修費 1000 円×4 人×4 回=16000 円 調理研修費 2000 円×4 人×2 回=16000 円
	その他経費合計額 (e)	54200 円	
事業費 (f) (d+e)		172000 円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。